

第 5 1 回 理 事 会

日本商品先物振興協会

日 時 平成18年11月21日（火） 12:00～

場 所 先物協会 会議室
（中央区日本橋小網町9-9 小網町安田ビル）

議 案

- 第1号議案 平成18年度事業実施状況及び収支状況について
第2号議案 今年度の収支見込と今後の事業展開方針について
報告事項 その他

以 上

今年度の収支見込と今後の事業展開方針（案）について

1. 今年度の会費収入見込

今年度の会費収入については、会費収入の積算基礎となる会員の売買数量を昨年度並の184,752千枚と予想し、471,720千円と見積もっていたが、11月までの実績で51,402千円のマイナスとなっている。特に、10月、11月の落込みがひどく、今後、この2ヶ月の平均で推移した場合の年間会費収入は、予算対比21%減、約9900万円のマイナスが予想される。

2. 平成18年度下期における予定事業及び支出見込額

現時点で予定されている平成18年度下期における事業については、

- ① 現状の会費収入を考えた場合、当初予算をそのまま実行していくわけにはいかない。削減すべきところは削減していかなければならない。
- ② 反面、今だからこそ対応しておかなければならない部分もある。
- ③ また、協会として必要最小限のことをやらなければ、存在価値はい。

という考え方のもとに、次の事業の実施を見送ることとする。（予算額約900万円）

- ・商品先物シンポジウムの開催（⇒取引所と協議中）
- ・投資家啓蒙サイトのプロモーション
- ・商品取引員名簿改訂版
- ・税制パンフレット増刷

3. 運営準備金の取崩し

現状のまま売買高が推移した場合、今年度の収支は約800万円の赤字になると見込まれることから、必要な資金に充当するため、3月の臨時総会において、運営準備金の取崩しを提案することとする。

以 上